

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 高橋栄作	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項 研究) 学術論文</p> <p>1. 簡易脳波計による子どもの音声知覚時の脳波解析 単著 平成 28 年 12 月 「比較文化研究」 No. 124</p> <p>2. Self-Access Language Learning の有効性について 単著 「地域政策研究」 No. 19 - 4</p> <p>3. 日本人英語学習者の発話分析 単著 平成 29 年 3 月 「明和学園短期大学紀要」 No. 26</p> <p>口頭発表</p> <p>1. 比較文化の方法論 平成 28 年 5 月 シンポジウム司会 日本比較文化学会第 38 回全国大会/2016 年度日本比較文化学会国際学術大会</p> <p>2. 最小対立項の知覚処理時における生理指標 平成 28 年 5 月日本比較文化学会第 38 回全国大会/2016 年度日本比較文化学会国際学術大会</p> <p>3. Self-Access Language Learning の有効性について 日本比較文化学会 平成 28 年 10 月東北・関東支部 2016 年度合同例会</p> <p>学会活動</p> <p>比較文化研究 No. 125 平成 29 年 2 月 編集責任者</p> <p>教育) 「グローバル時代を生き抜く英語力の習得」「国際人として対応できる英語力」を達成するために、英語プレゼンテーション能力の養成と、ICT を授業で使用し、世界中の Web サイトを開いて新たな知識・情報・体験へのアクセスができるように学習者の facilitator としてつとめ、課題の発見・解釈に向けて学習者が主体的・協動的にアクティブ・ラーニングがおこなえるように授業実践した。Flipped Class、Blended Learning も一部実践した。また、学生が学んだことを表現する機会のための English Café(英語会話)の企画・運営を行った。大学職員の英語力向上のために職員向けの English Café の企画・運営も同時におこなった。さらに、夏期休暇中に開講された TOEIC スコアアップ講座では、TOEIC のスコアアップにつながる解法のテクニックを学生が効率的に学べるように、企画・運営に従事した。教員免許状更新講習の講師を務めた。 その他、英語カリキュラムの検討を他の英語教員と共におこなった。</p> <p>学生指導) 教育活動の一環として、部活動に携わり、陸上競技部の監督として学生指導に当たった。主な指導結果は以下の通り。</p>	

国公立 26 大学対校陸上競技大会

於)Shonan BMW スタジアム平塚平成 28 年 9 月 19 日・21 日

男子総合 17 位 トラック 15 位 フィールド 19 位

主な男子個人記録

800m 6 位、10000mW 5 位、4×400m リレー7 位 、円盤投 8 等

女子総合 14 位 トラック順位 無 フィールド 10 位

主な女子個人記録

走幅跳 8 等、砲丸投 3 等、円盤投 6 等

第 9 3 回 東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

於) 国設昭和記念公園周辺 平成 28 年 10 月 15 日 48 位

第 9 回高崎経済大学陸上競技会開催 於) 高崎市浜川競技場

2 その他の事項

平成 29 年 3 月 40th GLOW (Generative Linguistics in the Old World) colloquium 参加

平成 29 年 3 月 韓国 南ソウル大学との提携に向けて大学施設見学など

財団法人 群馬陸上競技協会理事、高崎市陸上競技協会理事

日本比較文化学会編集委員

3 次年度以降の計画・抱負

神経科学を言語獲得・言語習得研究に応用していきたい。理論言語学の枠組みで、言語獲得・習得のメカニズム解明をしたい。

学生の「学修力」を育む一助となりたい。

部活動を通して学生の「肉体」「精神力」の強化をおこないたい。